

一般財団法人

住友病院

# Sound

vol. 59

2023 AUTUMN

住友病院だより【さうんど】

特集

## 心臓疾患のスペシャリストが集結

24時間体制で早期発見と迅速な治療に取り組む

循環器内科

- Report 「大野和士のこころふれあいコンサート 2023」開催
- 連携医療機関 医療法人 西平診療所  
医療法人 恵生会 吉本診療所
- 住友病院 がんドックのご案内
- INFORMATION



ご自由にお持ち帰りください

Illustration: Yosuke Asakusa

# 心臓疾患のスペシャリストが集結

## 24時間体制で早期発見と迅速な治療に取り組む

循環器内科は主に心臓の病気に対応する診療科です。対象疾患としては、急性心筋梗塞を含めた虚血性心疾患・不整脈・弁膜症・心筋症・心筋炎・心不全などです。住友病院の循環器内科は、心臓のスペシャリストが集結し、強固な院内連携のもと24時間体制で取り組んでいます。

循環器内科診療主任部長 兼 循環器センター長 **安賀裕二** やすか ゆうじ



住友病院の循環器内科は、今春、心臓画像診断と不整脈の各専門医がスタッフとして加わり、より専門性の高い医療をご提供できるようになりました。また、急性心筋梗塞など一刻を争う疾患が多いため「24時間365日患者さまを断らない」をモットーに循環器専任の救急体制を整え、昼夜を問わず高度医療をご提供しています。

歩くと息苦しくなる、胸が痛くなる、動悸がするなどの症状が出た場合には循環器疾患の可能性が

あります。このような症状が改善しない、悪くなっている気がする、安静時にも胸痛が出るなどの症状がある場合は急性心筋梗塞など非常に危険な疾患の可能性が非常にあります。急性心筋梗塞の病院到着前の死亡率はおよそ15〜20%と言われており非常に怖い疾患です。胸痛がおよそ15分以上持続する場合は救急車を依頼し、循環器内科の救急対応ができる病院内に搬送してもらうことが大切です（結果大きな問題が無くとも気にされる必要は全くありません）。

さらに、救急隊はもちろん、近隣のクリニックや他施設からの患者さまも迅速に受け入れることができよう専用のホットラインも設置しています。救急対応を含めた高度医療は当院が担当し、症状が落ち着いた方は一般の開業医の先生方にお任せするよう近隣の医療機関の先生方との連携も進めています。

### 検査方法

心臓は大半が筋肉で構成され、常に収縮して血液を送り出し、全身に酸素と栄養分を供給しています。24時間休むことなく収縮するためには、心筋そのものにも多くの酸素と栄養分が必要です。そのため心臓から出た大動脈は最初に心臓自身に血液を送るための血管の枝を出しており、この枝が冠動脈です。冠動脈は左右2本あり、それぞれがさらに枝分かれしながら心臓全体を覆っています。さまざまな要因で冠動脈が細くなったり詰まったりすることで起こる病気が「冠動脈疾患（狭心症、心筋梗塞）」です。中でも心筋梗塞は、血管が詰まり酸素が届かなくなり細胞の一部が壊死してしまうことで起こります。そして、一度壊死してしまうと再生はできません。そのため、早期に発見し、冠動脈を開通させることが重要です。

心電図検査などさまざまなありますが、多くはCTで検査をしますが、より重篤で正確な診断を行うためには心臓カテーテル検査を行います。この検査は、手首や太ももの付け根からカテーテル（医療用のやわらかい管）を冠動脈まで挿入し、造影剤を使いX線を照射して冠動脈の様子を診ます。検査は局所麻酔で行います。

### 治療法

動脈硬化で狭くなった血管を拡げるためには、カテーテルを使った治療（経皮的冠動脈インターベンション）を行います。バルーン（風船）をつけた特別なカテーテルを冠動脈に挿入し、血管の狭くなった部

分を膨らませ押し上げたり、ステントという金網のような筒をつけたカテーテルを挿入してステントを留置し、一度拡げた血管が再び狭くならないようにする治療法などがあります。さらに今年の4月から「インペラ（IMPELLA）」という機器を使った治療も開始しています。インペラとは、先端に軸流（プロペラ）ポンプを装着したカテーテルを太ももの付け根や鎖骨下から心臓の左心室に挿入し、その軸流ポンプを用いて左心室内から大動脈に血液を汲み出すことで、低下した心ポンプ機能を補助する装置です。急性心筋梗塞や劇症型心筋炎など急激な

心機能の低下に伴う循環補助に使用します。



### 冠動脈疾患

## 重篤な冠動脈疾患にも対応 補助循環用ポンプカテーテル 「インペラ」導入



循環器内科診療部長  
兼 冠動脈疾患治療室室長

**光定 伸浩**

Nobuhiro Mitsusada



不整脈・心不全

不整脈治療の専門医が着任  
専門技術と最新機器により  
安全で適切な治療を提供

心臓は1分間に60回から80回の規則正しい脈を打つことで全身に血液を補うポンプの役目をしています。心臓のポンプ機能が低下し、全身の血液循環に障害が起る状態を「心不全」といい、近年罹患者数、入院患者数とも増加の一途をたどっております。「心不全」の原因の一つに脈の不整脈(不整脈)が存在しますが、その不整脈の治療は、近年より安全で効果的な治療が行われるようになり、当院でもカテーテルアブレーションやペースメーカー、植込み型除細動器、両心室ペースメーカー等の心臓植込みデバイス治療が可能となりました。

いった異常な心筋が信号を出す不整脈の場合、カテーテルを用いてその異常な心筋を焼灼し根治する「カテーテルアブレーション治療」の適応となります。

心室ペースメーカーがあり、それぞれ不整脈治療に使いますが、適応疾患が異なっています。心拍数の低下する徐脈に対してはペースメーカー、致死性不整脈に対しては植込み型除細動器、心不全に対しては両心室ペースメーカーを一般的には使用します。その選択には疾患だけでなく、それぞれの患者さまにとって

きるものと考えています。不整脈治療についてはどなたさまもお気軽にご相談ください。



循環器内科 医長  
松本 晃典  
Akinori Matsumoto

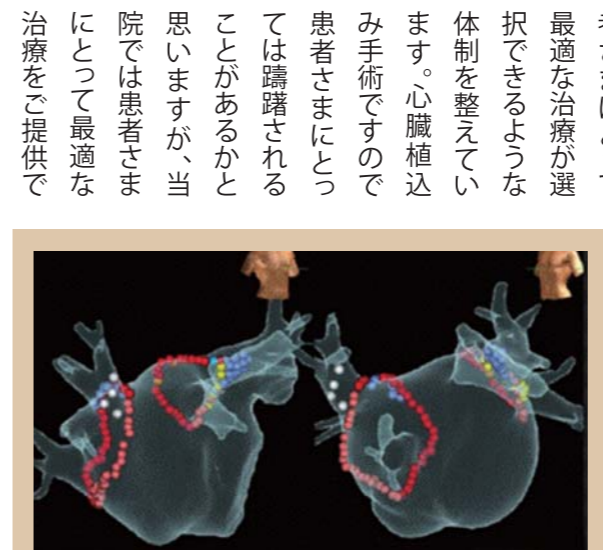
当院でのカテーテルアブレーション治療は疾患により異なりますが、心房細動であれば全身麻酔により2時間程度で、右内頸と右鼠径部より直径3mm弱の管を挿入して施行する治療です。手術の翌日には歩行が可能で3泊4日で退院できます。2023年4月から体制も少し変わり、以前より素早い対応が可能となり患者さまにかかる負担もより少なくなっています。

心臓植込みデバイスにはペースメーカー、植込み型除細動器および両

心室ペースメーカーがあり、それぞれ不整脈治療に使いますが、適応疾患が異なっています。心拍数の低下する徐脈に対してはペースメーカー、致死性不整脈に対しては植込み型除細動器、心不全に対しては両心室ペースメーカーを一般的には使用します。その選択には疾患だけでなく、それぞれの患者さまにとって

カテーテルアブレーション治療  
心拍数が増加する頻脈や正常部位からの信号ではない期外収縮と

心臓植込みデバイス治療  
心臓植込みデバイスにはペースメーカー、植込み型除細動器および両



アブレーション3Dマッピング  
電気信号をリアルタイムでとらえる3Dマッピングシステム



リードレスペースメーカー 皮下植込み型除細動器

心臓の画像検査では心エコー図法がよく知られており、最近では有力な新検査としてX線CT(コンピュータ断層撮影法)とMRI(磁気共鳴画像診断法)が加わりました。

それぞれの検査には得手不得手があります。エコーは簡便で心臓の動きはよく分かりますが、冠動脈や心臓の筋肉の性質の評価は困難です。

CTとMRIは、原理は全く違うのですが、どちらもエコーと同じく体の断面図を見る検査です。CTは放射線被ばくという難点はあるものの、1mm以下の高分解能画像の特性を活かした細かい形態診断が得意です。心臓では、冠動脈狭窄の診断に常用され、カテーテル造影検査に近い精度が報告されています。また撮影時間の短縮から、心臓の検査も15分程

度で終了します。一方、MRIはCTではコントラストの付かない脳や筋肉などの柔らかい組織の病気の検出に適しています。心臓では、造影MRIで心筋梗塞を100%見つけることができ、動きの低下した心筋の組織性状の評価にも用いられるようになってきました。CTと異なり被ばくの心配はありませんが、閉所の恐怖感や検査時間の長さが問題で、心臓の検査では1時間以上のこともあります。

私は医師を志してから医療の画像検査が行えています。狭心症や心筋梗塞などの冠動脈疾患では、外来検査が可能なので多くの患者さまにとってメリットは大きいと考えています。

以上のような特性を考慮し、当院では患者さまの症状や病態に応じて、画像診断の検査方法を選択します。なお当院のCTは「2管球CT」という100ミリ秒以下の超高速撮影ができる高性能装置、MRIは3テスラの高磁場装置なので、

心室ペースメーカーがあり、それぞれ不整脈治療に使いますが、適応疾患が異なっています。心拍数の低下する徐脈に対してはペースメーカー、致死性不整脈に対しては植込み型除細動器、心不全に対しては両心室ペースメーカーを一般的には使用します。その選択には疾患だけでなく、それぞれの患者さまにとって

私は医師を志してから医療の画像検査が行えています。狭心症や心筋梗塞などの冠動脈疾患では、外来検査が可能なので多くの患者さまにとってメリットは大きいと考えています。

心臓CT・心臓MRI

心臓画像診断のスペシャリストが  
循環器内科に着任  
最新CT・MRI装置で  
心臓病診断の信頼性が向上



循環器内科 顧問  
内藤 博昭  
Hiroaki Naito

外来診療に関して

以上のような救急対応を含めた高度医療を提供するため、外来で安定している患者さまには基本的にかかりつけ医による診療をお願いしています。  
<対象となる方>  
1. 明らかな心臓血管疾患を認めない高血圧・高脂血症など  
2. 長期間安定している心血管疾患患者さま  
例) 冠動脈カテーテル治療後、慢性期評価の済んだ患者さま。  
ここ数年は入院歴のない心不全の患者さま、軽症の不整脈の患者さま。かかりつけ医がない場合もお気軽に相談してください。当院と病診連携対応を行っている施設を中心に適切な施設をご紹介させていただきます。必要に応じて当科外来でも引き続き経過観察をお願いする場合があります。

冠動脈CT

▶ 右冠動脈狭窄

心臓造影MRI

▶ 心内膜下心筋梗塞



## 連携医療機関のご紹介

住友病院では地域の医療機関との相互連携を密にし、最善の治療環境の実現を目指しています。このコーナーでは、当院の連携医としてご協力いただいている先生方をご紹介します。

### 医療法人 西平診療所

診療科目：内科、循環器内科、消化器内科、精神科  
<https://www.nishihira-clinic.com/>



医師 西平 守和 Morikazu Nishihira

〒551-0003  
 大阪市大正区千島3-4-21  
 TEL. 06-6553-1166



【アクセス】  
 JR大阪環状線大正駅から  
 55号バスに乗り「千島」もしくは  
 「大正区役所前」下車徒歩すぐ

1979(昭和54)年に西平守也院長が開院された西平診療所。現在、守和医師は外来診療に加え、往診・訪問診療に注力されています。近隣の方々には、日曜日も診てくれると評判の診療所です。

#### ▶西平守和医師は循環器内科が専門ですね。

はい。大学病院や国立循環器病研究センターなどで循環器治療に携わってきました。特にカテーテル治療では数多くの症例を経験し、また救急医療現場では10年以上のキャリアがあります。現在はかかりつけ医として、患者さまが健康な状態で長く生活できるように日々の診療に取り組んでいます。

#### ▶往診にも力を入られています。

「診療所から半径16km以内」にお住まいの患者さまなら、いつでもどのような疾患でも断らず受け入れています。往診専従のスタッフと協力しながら、患者さまやご家族との会話を大切に診療にあたっています。

#### ▶守和医師は弁護士でも活躍されているとか。

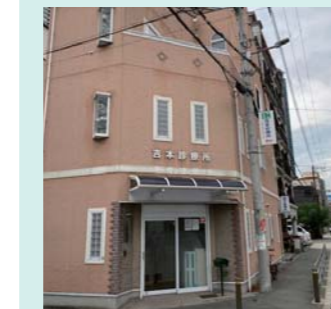
はい、医師としての知識を生かし、医療訴訟専門の弁護士としても活動しています。

#### ▶メッセージをお願いします。

当院は「地球上で最も患者さまを大切にするクリニック」を目標に、往診・訪問診療を積極的に行い、発熱外来、日曜外来なども行っております。判断、指示などはスピード感をもちつつ、説明などは分かりやすくすることを心がけています。

### 医療法人恵生会 吉本診療所

診療科目：内科、小児科  
<http://www.yoshimoto-cl.com/>



院長 吉本 裕 Hiroshi Yoshimoto

〒531-0076  
 大阪市北区大淀中3-2-12  
 TEL. 06-6453-0910



【アクセス】  
 JR大阪環状線福島駅から  
 徒歩10分

住友病院 地域医療連携室 TEL. 06-6447-3031(直通) FAX. 06-6447-3052  
 受付時間/平日 8:30~19:00

1978(昭和53)年開院し、2005(平成17)年に現在の地に移転開院した吉本診療所。45年もの間、地域に根付いた診療所として、地元の方の信頼が厚い診療所です。

#### ▶吉本裕院長は、近隣の学校医や園医、産業医も数多く務めていらっしゃいます。

生活習慣病をはじめとする内科全般、乳幼児を含む小児科を標榜し、往診も積極的に行うなど「いつでもかかりやすい診療所」を目指してきました。4世代にわたって通院されている患者さまもいらっしゃる地元密着型の診療所です。

#### ▶診療所は3階建てですね。

はい。エレベーターを完備し、1階フロアで主に診察(別室で発熱外来も実施)を行い、2階ではレントゲンやエコー、心電図などの検査に加え点滴などをバリアフリーで受けていただけるようにしています。

#### ▶順番予約がスマートフォンでも取得できます。

順番予約システムを導入し、好評です。また、初診申込書もホームページからダウンロードできるなど、できるだけ待ち時間を少なくするようにしています。

#### ▶メッセージをお願いします。

どのような疾患でもまずはかかりつけ医として診察いたします。そして、必要時にはすぐに専門のクリニックや病院の専門医に紹介し、患者さまができるだけ早期の検査・治療を受けられるよう留意しています。

医療機関の皆様へ【検査・診療予約のご相談はこちらまで】

## Report



病院がまるでオペラ座のように！

一流の歌声に笑顔があふれる

### 「大野和士のころろふれあいコンサート 2023」開催

7月15日(土)、住友病院のエントランスホールにて海外でも活躍する指揮者・大野和士さんによる「大野和士のころろふれあいコンサート 2023」を開催しました。このコンサートは、大野さんが「コンサートに行くことが困難な方でも気軽に音楽と触れ合う機会を」という想いから、2008年より全国の病院や高齢者向け施設などで開催されているものです。当日は、東京都交響楽団やブリュッセル・フィルハーモニック音楽監督、新国立劇場オペラ芸術監督を務める大野さんがピアノ伴奏し、声楽家の方々が美声を披露。曲目はヨハン・シュトラウス2世のオペラ「こうもり」や、プッチーニの「トゥーランドット」から「誰も寝てはならぬ」などなじみの曲から日本の歌「夏の思い出」や「ふるさと」も含む全9曲。大野さんが曲の場面の解説をしたり、世界各国を旅したような気分させる演出でした。入院患者さまやご家族など約150人がそんな大野さんの軽快なお話や歌声に酔いしれました。

#### 出演者

お話とピアノ 大野 和士 (指揮者)

雨笠 佳奈 (ソプラノ)、佐藤 寛子 (メゾ・ソプラノ)、濱松 孝行 (テノール)、寺本知生 (バス)

Profile 大野 和士 (指揮) Kazushi Ono, conductor

東京都交響楽団およびブリュッセル・フィルハーモニック音楽監督、新国立劇場オペラ芸術監督。1987年トスカニーニ国際指揮者コンクール優勝。これまでに、ザグレブ・フィルハーモニー管弦楽団音楽監督、東京都交響楽団指揮者、東京フィルハーモニー交響楽団常任指揮者(現・桂冠指揮者)、カールスルーエ・バーデン州立劇場音楽総監督、モネ劇場(ベルギー王立歌劇場)音楽監督、アルトゥーロ・トスカニーニ・フィル首席客演指揮者、フランス国立リヨン歌劇場首席指揮者、バルセロナ交響楽団音楽監督を歴任。フランス批評家大賞、日本芸術院賞ならびに恩賜賞、サントリー音楽賞、朝日賞など受賞多数。紫綬褒章受章。文化功労者。



# 住友病院 がんドックのご案内



当院のドックでは、乳がん・肺がん・大腸がんについて単独でチェックできる「がんドック」を用意しています。気になる“がん”について、専門の担当者が高度な検査を提供いたします。ぜひ、この機会にがんドックを受けて、未来の健康を守りましょう。

## 乳がんドック

女性のマンモグラフィ撮影認定技師と超音波検査士が担当します。

### ■コース別の実施日時と料金

- ①マンモグラフィ+超音波検査  
実施日時/火・木曜日 13:00~  
料 金/9,900円
- ②超音波検査  
実施日時/金曜日 13:00~  
料 金/3,850円

## 肺がんドック

放射線診断専門医が読影を担当します。

実施日時/月・火・水曜日 13:00~  
料 金/23,100円

## 大腸がんドック

内視鏡は消化器内視鏡専門医が施行、CTは専門医師が読影します。

### ■コース別の実施日時と料金

- ①大腸がんドックA(内視鏡)  
実施日時/月・火・金曜日 13:00~  
料 金/36,300円
- ②大腸がんドックB(CT)  
実施日時/月~金曜日 13:00~  
料 金/38,500円

お問い合わせ先:健康管理センター  
TEL.0570-01-3335 (平日10:00~16:00)

## INFORMATION



### 2023年度 市民公開セミナーのご案内(オンライン開催を予定)

当院では、市民の皆さまに医療に関する理解を深めていただき、健康促進にお役立ていただくことを目的にセミナーを開催しています。参加費は無料ですので、どうぞお気軽にご参加ください。



開催日	テーマ(仮題)	担当科(予定)
2023年12月14日(木) 14:00~15:00	ロボット手術について	整形外科
2024年 3月 7日(木) 14:00~15:00	がんの放射線治療	放射線治療科

※セミナー開催予定は予告なく変更する場合がございます。スケジュール、最新情報、申し込み方法等詳細は、当院ホームページでご確認ください。



### 年末年始の診療体制

年末年始の診療日は右記の通りです。  
ご注意ください。

2023年12月28日(木)	12月29日(金)~2024年1月3日(水)	1月4日(木)
最終診療日	通常診療はなし(急患のみ)	通常診療

今号の広報誌「Sound」の取材に関しては、マスク着用の上実施し、撮影時のみマスクを外して行っています。

〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-20

TEL.06-6443-1261(代表)

【受付時間】 8:30~11:30、12:30~15:00

“Sound”には、「音」のほかに「聴診する」「健康な」「確かな」という意味も含まれています。

住友病院だより「Sound」 ©発行人:金倉 譲 ©編集:布部 真哉、西野 秀、増田 亮、小島 夢輝



住友病院は、大阪府がん診療拠点病院です。



住友病院

住友病院

検索



「こんなことが知りたい」など、本誌についてのご意見・ご感想を当院ホームページの「お問い合わせ」フォームにぜひお寄せください。よりよい誌面づくりの参考にさせていただきます。住友病院だより【Sound vol.59】2023年10月1日発行